No. 3月一4

復 命 書

19年3月5日

静政会 代表

伊東 稔浩 様

議員名 佐藤 成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

記

1 日 程

19年 3月 2日(金)

- 2 視 察 先(都市名、視察施設等を具体的に)浜松市女性のチャレンジ支援マイタウンミーティング出席
- 3 視察内容(調査事項、調査結果を具体的に)
 「女性が政治に活躍する国フィンランド」 ヒルッカ・ピエティラ氏
 「私のチャレンジ」
- 4 そ の 他(所感、感想等) 別紙参照

女性のチャレンジ支援マイタウンミーティング IN 浜松 "女性が政治に活躍する国フィンランド" 講師 ヒルッカ・ピェティラ氏(フィンランド国連協会名誉会長) *通訳者を通じての講演要旨*

1906年に初めて制定されたフィンランドの憲法には、女性の完全 な政治的権利(投票権・立候補権)が明記されていました。これは、 世界で、最初のことです。翌年の1907年にフィンランド最初の普通 選挙が行われ、その選挙の際に議員総数 198 人中 19 人が女性でし た。このようにフィンランドでは、最初の国政選挙から女性は議員 数の10パーセント近くを占めていましたが、単に憲法に女性の政治 的権利が書かれていたからこうなったのではありません。憲法が制 定されるずっと前から女性たちの団体が、女性の問題を解決するた めには、女性が政治に関心を持ち、政治に参加することが必要であ ることを啓蒙し、女性たちの積極的な政治活動を働きかけてきたそ の運動の成果でした。この女性たちの積極的な政治参加の伝統は、 現在に至るまで女性運動に引き継がれ、現在、フィンランドでは、 国会議員の40パーセント、閣僚の17名のうち8名が女性です。さ

らに大統領も最高裁判所の長官も女性です。

また地方議員でも、私の住んでいるヘルシンキ市市議会では、定員85名のうち45人(53パーセント)が女性です。市議会議員から選ばれる委員会は、15人中9人が女性です。市当局が配置する審議会や委員会でも、女性の数が男性のそれを超えています。近く日本では、統一地方選挙があり、この浜松でも、市政に挑戦する人がいると伺いました。人々の政治に対する関心が高まっているときに、女性が政治の世界に積極的に参加し、女性の視点から発信し、新しい可能性を提案し、新しい風を巻き起こしていくような力強い政治参画を期待しています。

さすが北欧、フィンランドと思いますが、何事も努力なくして結果 は得られないのだと思いました。

市民の意識改革には時間がかかります。一人で叫んでも何も響きません。身近のことすべてが政治であると自覚すること。その輪を広げていくこと。日常活動こそが、政治。問題意識を持つことこそが、 政治の第一歩。改めて、自分自身の日常を問うことにします。

第2部の交流パーティは、ひな祭りイブ? (女性たちよがんばろう!) たくさんの方と触れ合いエネルギーをいただきました。